Initiatives of Change
一人ひとりのチェンジで信頼を築く

IC ニュース NEWS

Vol.42

公益社団法人　国際IC日本協会

発行年月日　2025年7月1日
発行所　公益社団法人 国際IC日本協会
〒106-0041
東京都港区麻布台2-2-1
龍岡会ビル
TEL 070-1433-3693
URL https://iofc.jp
頒価1部　200円

第 14 回定時会員総会のご報告　専務理事　道畑剛作

第 14 回定時会員総会は、3/22（土）11 時から 13 時まで、麻布台の当協会事務所での直接参加及び ZOOM 参加の併用で開催されました。今回の総会は議案が 3 件あり、また、会費の値上げという会員に直接関わる議案もあったため出席会員数も 88 名（うち議決権行使書提出者が 85 名）と多数に上りました。このことは、会員の方々が日頃から当協会の事業運営に関心をお持ちになり、またご理解・ご協力を賜っていることの現れであると考えられます。

議決権を有する会員数及び定足数、当日の出席状況等は以下の通りです。

・議決権を有する正会員数：110 名、（総会成立のための定足数（正会員数の過半数）：56 名）
・当日の出席者：88 名（事務所参加 9 名、ZOOM 参加 9 名、議決権行使書提出者 85 名）

《事務所参加者及び ZOOM 参加者の計 18 名のうち、15 名は事前に議決権行使書を提出済み》

会の冒頭、議長（藤田幸久会長）の提案により、参加者全員で本年 1 月にご逝去された片見正美会員とヒュー・ウィルキンソン元会員（英国出身）に対し黙祷をささげた後、議長から次のような挨拶がありました。

「世界の IC 団体の現況を見ると、英国でもスイスでも財政的に大変厳しい状況にある。私ども日本でも大変に厳しい状況にあるが、これは考えようによっては自己改革の良い機会が与えられたと捉えることもできるのではないか。昨年からの 1 年間は、大変厳しい財政状況の中を多くの方々のご厚意・ご協力を賜りながら現在に至っている。このような状況の中での大事な総会なので、是非皆様のお知恵を頂きたい。」

続いて議案審議に入り、第 1 号議案「第 13 期事業報告書及び決算書類承認の件」、第 2 号議案「個人会費年額改訂の件」第 3 号議案「会費収入の全額を法人会計へ繰入れ可能とする件」の 3 件につき、審議が行われました。

第 1 号議案については、採決の結果、承認 87 票、否認 1 票で可決承認されました。

第 2 号議案については、会員から「会費値上げに反対するものではないが、値上げ幅の根拠を説明してほしい。また、会費値上げをする以上、事業をさらに充実させることも考えて頂きたい」との質問・要望がありました。

これに対して、担当理事から、「値上げ幅については、特に何らかの算式を用いてはじき出したものではなく、会員の皆様からのご理解・ご賛同を頂ける値上げ幅はこのくらいかとの判断である。また、事業の実施については、自己完結型の企画を実施すべく検討中である」との回答がありました。

本件議案は、定款の変更を含むため、可決には総正会員議決権数の 2/3 以上の多数票（74 票以上）が必要のところ、採決の結果、承認 82 票、否認 6 票で可決承認されました。

第 3 号議案については、特段の質問・意見はなく採決の結果、承認 81 票、否認 7 票で可決承認されました。

最後に、第 14 期事業計画書及び予算書の報告があり、第 14 回定時会員総会は終了しました。

第 2 号議案の可決により、個人正会員の年会費が現行の 6000 円から 8000 円に改定され、個人賛助会員年会費が現行 3000 円以上から 4000 円以上と改定されました（法人賛助会員年会費については現行通り）。

また、第 3 号議案の可決により、会費収入の使途として、現行は法人会計に 50％以下を使用できると規定されているところ、法人会計に 100％繰り入れることが可能となりました。これにより、資金繰りの逼迫・枯渇のリスクへの備えが厚くなりました。

今回の定時会員総会の結果を受け、役員一同、当協会の歴史と伝統を銘記し、会員の皆様と力を合わせて現在の財政危機を乗り切り、当協会の存続・活動の充実に努めるべきものと考えております。

会員の皆様におかれましては、当協会の現状をご理解の上、従前にも増してのご協力をお願い申し上げます。

インドの学校教育関係者のつくば市訪問

昨年の第 46 回 IC 国際フォーラムに参加されたインドから来日中のパラグ・シャー氏のご紹介で、4/28 にインドの学校教育関係者 9 名がつくば市を訪問しました。パラグ夫人（アスマ女史）は以前にＩＣ学校訪問で来日された事もあります。つくば市立みどりの学園義務教育学校視察では生徒から「最先端機器を活用した課題解決」「ＲｏＢｏＨｏＮ（モバイル型ロボット）」の説明を受けました。また、教育関係者との懇談で活発な質疑応答が行われ、訪問団代表からは、これからインド

国と日本国（つくば市）とで教育交流の事業を考えたいと視察を終えて感謝の意を込めて挨拶がありました。その後、JAXA スペースドームを見学し日本の宇宙開発事業に驚かれていました。当協会は青少年健全育成学校訪問の取組から協力団体としての立場にて、当日の交流の場に木村清隆理事（つくば市議会議員）が案内し交流を深めました。

国際 IC 日本協会設立 50 周年記念　第 47 回 IC 国際フォーラム（2025/10 月）のお知らせ

「第 47 回 IC 国際フォーラム」を以下のように開催いたします。是非お誘いあわせの上ご出席ください。

第 1 日目：10 月 26 日（日）　10:00 ～ 17:00、　　会場：明治学院大学

テーマ：「戦後 80 年を超えて若者が作る平和」

講師：① 吉田ゆかり氏（防衛大学校女子一期生、一等空佐、現 航空自衛隊幹部学校教育部主任教官）

② 認定 NPO 法人「パレスチナ子供のキャンペーン」ガザ派遣ボランティア（講師名確認中）

③ 岡本あんな氏（共同通信グループ NNA 韓国編集記者、国際 IC 日本協会理事）

《グループディスカッション　「次世代へつなげる平和への道」》

第 2 日目：10 月 27 日（月）　10:00 ～ 17:00、　　会場：衆議院第一議員会館　国際会議室

テーマ：「和解と信頼の架け橋の半世紀」

講師：① 中曽根弘文氏（国際 IC 推進議員連盟会長、元外務大臣、元文部大臣、）

② 李柱榮氏（イ・ジュヨン）（MRA/IC 韓国本部総裁、元国会副議長）

③ 矢野弘典氏（コー円卓会議日本委員会会長、国際 IC 日本協会名誉会長、）

④ 戸松義晴師（世界宗教者平和会議日本委員会理事長）

⑤ 有光 健氏（戦後補償ネットワーク世話人代表、早稲田大学国際和解学研究所招聘研究員）

《パネル・ディスカッション　「国際 IC 活動と日本 IC 協会の歩み・これから」》

17:30 ～ 19:30　国際 IC 日本協会設立 50 周年記念祝賀会

会場：衆議院第一議員会館　地下 1 階食堂

2 日間とも、講師の出講順番は変わる可能性がありますので、お含みおきください。

【会員の皆様へのお願い】IC 国際フォーラムの準備をお手伝い下さる会員の方は、是非ご一報ください。皆様からのご連絡をお待ちしております。　e-mail：info@iofc.jp　TEL：070-1433-3693（担当：副会長　田口ヤス子、 事務局　宮下、長澤）

今年度の行事日程

5 月 29 日	IC フォーラム講演会 「我が国のサイバーセキュリティの現状と課題」 講師：関口祐司氏（内閣サイバーセキュリテイセンター副センター長）（参加者 27 名で、盛況裡に終了）
7 月 8 日～ 12 日	スイス・コー　民主主義フォーラム
26 日～ 8 月 1 日	〃　　IDG s フォーラム
10 月 26 日～ 27 日	第 47 回 IC 国際フォーラム、国際 IC 日本協会設立 50 周年祝賀会
11 月 1 日	韓国 MRA/IC 本部主催　日韓国交正常化 60 周年記念イベント（予定）
11 月初旬頃	IC フォーラム講演会 「トランプ政権の 10 か月を振り返って（仮題）」 講師：マーチン・ファクラー（元ニューヨークタイムス東京支局長）

あとがき（広報担当理事から）

久しぶりの「IC ニュース」発行となりました。今後、年 2 回程度の発行を考えております。

6 月は MRA 運動の創始者 Dr. Frank Buchman（1878.06.04-1961.08.07：写真）の誕生月です。生誕 147 年目、没後 64 年目になりますが、この機会に ‘平和を築いた人’ のビデオをまだご覧になっていない方は是非ご鑑賞下さい。なお、IC ニュースに掲載ご希望の記事・写真等ございましたらご連絡ください。

（広報担当理事　川勝鋼太郎）

ご寄附のお願い

当協会では、会員の皆様及び会員のご紹介による非会員の方からのご寄附を受け付けております。一口 1 万円で口数に制限はありません。当協会は公益法人ですので、ご寄附された方は、税金の控除が受けられます。お問い合わせは、事務局までお願いします。

（e-mail：info@iofc.jp　TEL：070-1433-3693）